

平成30年度 玉村町立玉村中学校 学校評価一覧表②(様式2)

羅 針 盤			自己評価 (総合)	学校関係者 評価	学校関係者評価の意見	今後に向けての学校の考え
評価対象	評価項目	具体的数値項目				
I 保護者等との連携	保護者への情報提供	1. 生徒の活動の様子を保護者へ連絡し、理解を得ていますか。	①「学校や子どもの成長の様子がわかる」と保護者の80%以上が答えている。	A	A	○学校・地域・保護者共に情報共有ができています。 ○「GGS向上ノート」について情報提供できるように工夫する。 ○学校行事やPTA行事に参加できるようにPRを充実させる。 ○通信をホームページで読めるようにする等の工夫をする。
	連携のための環境づくり	2. 保護者は学校のことを知ろうとしていますか。	②保護者の80%以上が生徒の「GGS向上ノート」の活用について知っており、子どもにより良い生活を送らせたいと考えている。 ③学校やPTAの諸活動に保護者の80%以上が年2回以上参加しようとしている。 ④「学校からのたよりに目を通したい」と、保護者の80%以上が答えている。	A	A	
II 確かな学力	わかる授業	3. 授業の中で生徒一人一人が大切にされていますか。	⑤「授業がわかる」と生徒の80%以上が答えている。 ⑥生徒の80%以上が授業に満足感をもっている。 ⑦「指導に工夫が見られる」と教師の80%以上が答えている。	A	A	○学力については個人差があると思いますが、それぞれ自分に合った学習をしていると思います。 ○シャーペンの持ち方が気になりました。小学校で入学時点でおかしな持ち方をしていたままになっているのかもしれない。 ○廊下に本が置かれ、貸し出しもされていて、生徒が身近に本を感じられるように工夫されています。 ○活字離れが進んでいるように感じられます。
	学習習慣	4. 自主的な学習習慣を生徒は身に付けていますか。	⑧家庭学習を1日1時間以上(週7時間以上)、生徒の80%以上が行っている。 ⑨「月に1冊以上読書をしている」と生徒の80%以上が答えている。	B	B	
III 豊かな心	いじめのない温かい人間関係	5. いじめのない温かい人間関係を育てていますか。	⑩「学校はいじめに対して、早期発見、早期解決に向け、全力に取り組んでいる」と生徒の80%以上が答えている。 ⑪「相談できる友達がいる」と生徒の80%以上が答えている。	B	B	○学校生活アンケートを継続して行うのと同時に、いろいろな人の目で生徒の様子を把握し、生徒の困っていることや悩んでいることを早期発見・早期対応できるようにする。 ○委員会やPTAのあいさつ運動を継続して、あいさつ等への意識を高める。 ○通信や行事を通して、家庭のルールについて意識を高めるとともに、道徳の授業などを通して、家族の一員としての役割を果たそうとする心を育てていく。 ○コンサルティングなどを通して、生徒の悩みや心配事を聞くとともに、各クラスにある相談カードやスクールカウンセラーを活用し、生徒一人一人の心に寄り添う指導を行っていく。
	あいさつ	6. 生徒は時と場に応じた適切な言動をとっていますか。	⑫生徒、保護者、各々80%以上が進んであいさつをしていると答えている。	B	A	
	家庭のルール	7. 生徒は家庭で決められた約束を守っていますか。	⑬生徒の80%以上が家庭で手伝いをしている。 ⑭生徒の80%以上が家庭での約束を守っている。	C	C	
	学校のルール	8. 生徒は教師の生徒指導に満足していますか。	⑮生徒の80%以上が、学校には悩みや心配事を相談する場があると答えている。	A	A	
IV 健康・体力	基本的な生活習慣(家庭教育)	9. 生徒は基本的な生活習慣を身に付け、健康の保持・増進に努めていますか。	⑯生徒の70%が3食のバランスのよい食事を摂るように心がけている。 ⑰1日6～9時間の睡眠時間を生徒の80%以上がとっている。 ⑱メディア(ゲーム・インターネット・TV・携帯等)の使用時間が2時間以内に抑えられていると生徒の70%以上が答えている。	B	B	○健康の保持増進に努められるよう、食生活について学校保健委員会でも取り上げる。 ○GGS向上ノートにメディアの使用時間を記録し、視覚化させることで、長時間使用防止を図っていく。 ○今後も夏季休業中の駅伝練習や冬場に週1回行う駅伝練習を通じて、運動部だけでなく、全校で体力づくりを推し進めていく。
	体力づくり	10. 生徒は日常生活の中で運動に親しんでいますか。	⑲運動(部活動も含む)や地域のスポーツ活動などに生徒の80%以上が取り組んでいる。	B	B	
V 安全確保・施設整備	学校の施設設備	11. 施設・設備の安全管理や危機管理を徹底していますか。	⑳学校は安全(危機)管理マニュアルを確認してシミュレーションを年2回以上実施している。	A	A	○教職員の危機管理意識を高めるための研修を計画的に実施していく。 ○生徒・保護者と教員のとのらえ方に差がある。生徒が交通規則を守れるよう継続して指導に当たる。一斉指導のパトロールを拡大して行っていく。
	学校の安全対策	12. 交通事故や不審者への対策を十分にとっていますか。	㉑学校は地域の諸機関と年2回以上協議し、地区内の危険箇所の対応策をとっている。 ㉒生徒の80%以上が「常時交通規則を守って登下校をしている」と答えている。	A	A	
VI 進路・生き方	夢や希望	13. 進路についての学習や指導体制を改善・充実していますか。	㉓学級活動における進路学習や啓発的な体験活動を通して、生徒の80%以上が自己の生き方を考えている。	A	A	○「将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている」という項目がまだ目標とする数値に達していない。日常の活動では、各種通信で情報を伝え、進路学習の中では、親子で考えたり、保護者にインタビューをするような課題を与えたりすることで、進路についての親子間のコミュニケーションの活発化を図っていく。
		14. 生徒は、将来の夢や希望をもっていますか。	㉔学校の「生き方」の指導は、生徒の自己の生き方を考える機会となっていると生徒の80%以上が答えている。	A	A	
		15. 将来の夢や希望する進路について、生徒の80%以上が親子で年2回以上話し合っている。	B	B		
VII 主体性を育てる教育活動	主体性の育成	15. 生徒に目的意識をもたせるような指導を行っていますか。	㉕「生徒会スローガンやGGS向上ノートに書く毎月の目標を定めるような指導を行っています」と、生徒の80%以上が答えている。	C	B	○授業参観をして、前期の初めと年度末を比較すると、教室の雰囲気に変化し、生徒の自主的な学習態度を感じました。 ○生徒一人一人が意識し、教員も指導するために月の半ば頃、口頭で振り返る時間を設定する。例えば、玉中タイムを4、5回使って継続的に確認できるようにする。 ○各委員会の活動を生徒集会、生徒会放送、生徒会新聞で全体に紹介していく。
		16. 生徒会の自主的・自発的な活動を育成していますか。	㉖生徒会活動で「十分に活動できた」と、生徒の80%以上が答えている。	B	A	